

収入額・需要額調書について（記入例）

提出日時点の情報を記入する。
住所の（ ）には令和4年末時点の住所を記入。
提出日時点と同じ住所であれば記載不要です。

別記様式第1号（第4条関係）

特別支援教育就学奨励費に係る収入額・需要額調書
(整理番号) NO.

保護者氏名 東広島 太郎		住所 東広島市西条町〇〇番地〇〇 (広島市安芸区××番地)		児童生徒氏名 東広島 桜子		学校名、学年(特別支援学級名)等 東広島小学校 5年たんぼほ1組		※都道府県の地区別区分 (IV) 地域の級地区分(3-1)		学校長印 国					
世帯の収入状況				世帯の状況(昨年12月末日現在)				需 要 額 等							
所得控除前		保護者等氏名		生年月日(満年齢)		性別		続柄		職 業		教育扶助基準		生活扶助基準	
												※通学費	※学校給食費	※基準額	※第1類
総所得金額	円	東広島 太郎	S52年1月1日(45才)	男	父	会社員									f(基準額)
退職所得金額	円	東広島 花子	S56年8月8日(41才)	女	母	パート									g(地区別冬季加算)
山林所得金額	円	東広島 吾郎	S20年9月9日(77才)	男	祖父	無職									
計	A		年 月 日(才)												h 住宅扶助基準
所得控除		社会保険料		子等の氏名		生年月日(満年齢)		性別		続柄		在学学校名及び学年(特別支援学級通学の有無)			
		生命保険料		東広島 桜子		H23年4月4日(11才)		女		本人(現駐在)		東広島小学校 5年たんぼほ1組(有り)		需要額	
		地震保険料		東広島 桃子		H26年6月6日(8才)		女		妹		東広島小学校 2年(無し)		(a~hの合計)	
		ひとり暮らし、寡婦控除の額、※保護者等のみ		東広島 史郎		H30年5月5日(4才)		男		弟		東広島保育園			
計		B		年 月 日(才)											
所得額(A-B)		C		年 月 日(才)										収入額	
所得控除(C×1/12)		D		年 月 日(才)										E	
障害者加算控除(保護基準により算定)		E		年 月 日(才)										I	
収入額(D-E)		F		合 計				a		b		c		d e	
特記事項								支弁区分 <input type="checkbox"/> I 配偶(令第2条第1号該当) <input type="checkbox"/> II 配偶(令第2条第2号該当) <input type="checkbox"/> III 配偶(令第2条第3号該当)							

- 注 1 特記事項の欄は、生活保護等の該当事項を記入すること。
2 整理番号は、個人別支給台帳の番号に合わせる。
3 令とは、特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令(昭和29年政令第157号)をいう。

市が、この調書に基づき私及び私の同居人全員の所得状況及び世帯状況について調査することに同意します。
なお、このことについては、同居人全員の同意を得ています。
令和5年 7月15日
東広島市長 様
保護者氏名 東広島 太郎

【記入上の注意事項】

1. この書類は、就学奨励費の支給を受けるために必要なものです。太枠の着色部分に正確に記入（鉛筆や、消せるボールペンでの記入は不可）してください。（※の付してある欄は記入する必要はありません。）
所得等は教育委員会で確認し、記入しますので、調書の右下の同意欄に承諾の署名してください。
2. 住所はこの調書の提出時点のものとし、令和4年12月末日時点の住所と異なる場合は、住所欄の下の（ ）内に令和4年12月末日時点の住所を記入してください。
3. 世帯の状況の欄は、令和4年12月末日現在の世帯の状況を記入します。
したがって、「満年齢」、「在学学校名、学年（特別支援学級通学の有無）」の欄も令和4年12月末日現在の状況により記入することとなります。
4. **令和5年1月1日時点で東広島市に住民票のない方は、収入額・需要額調書に、令和5年1月1日時点で住民票のある市町村で発行される市県民税課税台帳記載事項証明書（次の2点の内容が記載されたもの）を添付してください。**
 - （1） 令和5年度に納付すべき県民税及び市民税の課税の基礎となった令和4年1月から令和4年12月までの同一生計世帯の世帯員全員の総所得金額、退職所得金額及び山林所得金額
 - （2） 前記の県民税及び市民税の課税に当たって所得控除された社会保険料、生命保険料、地震保険料、ひとり親控除及び寡婦控除の金額